

Medical Technology News

LOOK



「インフルエンザの検査は陰性なのに・・・」

全国的にインフルエンザが猛威をふるっていますが、皆さんは大丈夫ですか？

インフルエンザウイルス検査は、鼻の奥やのどを綿棒でこすり、綿棒を調べます。インフルエンザの検査精度は85～95%の間で、検査結果は陰性であるかどうかが判別されます。

インフルエンザウイルスが人に感染した場合、感染の初期ではウイルス量は少なく、その後徐々に増えて感染後約2～3日で達し、徐々に減少して約5～7日で消失します。そのため、発症後数日経ってしまうと検査結果が陰性になる可能性があります。

主治医に「検査結果は陰性だけど、症状や流行状況から考えると、これはインフルエンザだね！」と言われた経験のある方はいませんか？

残念ながら迅速検査は、絶対ではないのです。

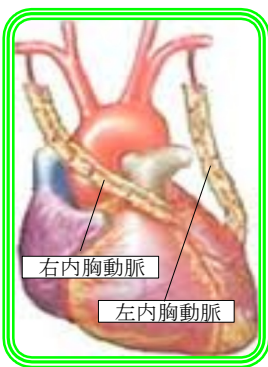


先日、天皇陛下が狭心症の治療で心臓のバイパス手術を行ったと話題になりました。

冠動脈バイパス術は心臓に栄養を送る血管である冠動脈が詰まったり、細くなった場合、その部分を別な血管で迂回させ血流を保つ手術です。今回の手術では、左内胸動脈を左冠動脈前下行枝に、右内胸動脈を左冠動脈回旋枝につなげたようです。

バイパスに使われた血管（タラフト）である内胸動脈とは、鎖骨下の大動脈から分岐している血管なので末梢側を切り取りつなげるだけで冠動脈に血液を送る事が出来ます。また、内胸動脈は胸の肋間筋などに栄養を送っている血管ですが、切り取った、動脈グラフトでのバイパスの10年後

冠動脈バイパス術(CABG)の話



左右の内胸動脈を用いたバイパス術のイメージ図

冠動脈の治療には当院でも行われているカテーテルを用いた、ステント(金属の筒)で血管を広げる冠動脈インターベンション(PCI)という治療法もあります。問題になるのは再狭窄ですが、最近では薬剤溶出ステントを用いる事により再狭窄が起る確率を非常に小さくする事ができます。

バイパス手術では病変部を迂回して血流を保っており再狭窄は心配ありません。また、動脈グラフトでのバイパスの10年後

臨床検査室新聞

2012年 3月
第33号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



の開存率は80%以上といわれています。

治療方法にはそれぞれ特徴があります。大きな違いは、バイパス手術では全身麻酔下での開胸手術であるのに対しカテーテルは部分麻酔で手や足の血管を切開しての手術となり体への負担がかなり違います。

患者さんの体や血管の状態はもちろん、これからの患者さんの生活スタイルも考えて病院では治療方法を選択しています。

チェック！



慢性膵炎 成因1位はアルコール

膵臓は、食物を消化する消化酵素(アミラーゼ、トリプシン、リパーゼなど)と血糖値の調整を行うホルモン(インスリン、グルカゴン)を分泌する臓器です。

慢性膵炎は膵臓に繰り返し炎症が起り、次第に膵臓の細胞が破壊され繊維に置き換わり、膵臓全体が硬くなって萎縮していく病気です。膵臓の中に石(膵石)が出来ることもあります。慢性膵炎の早い時期では腹痛が主な症状ですが、膵臓が広範囲に破壊されると、一般に腹痛は軽減します。しかし、消化酵素の分泌が低下して消化吸収障害(脂肪便)や、インスリンの分泌が低下すると糖尿病になることがあります。



ほと time

いよいよプロ野球開幕が近づきましたね。日本ハムの異色のルーキー大嶋匠捕手、バッティングはまずまずですが、守備には不安が残るようです。キャッチャーは守備の要、練習あるのみですね。何事も努力が肝心です。3/30(金)の開幕戦、一軍での活躍を期待しています。



検査の基本

血清アミラーゼAMY

アミラーゼは、でんぷんなどの糖類を分解する消化酵素で、主に唾液腺や膵臓から分泌されます。他に、肝臓、肺、腎臓、小腸、乳腺、卵管などにも含まれます。

成因としては飲酒によるアルコール性膵炎が64.8%と多く、次に原因不明の特発性膵炎が18.2%、胆石性膵炎2.8%などがあります。アルコール性慢性膵炎は増加傾向にあり、特発性と胆石性慢性膵炎は減少しています(図1参照)。

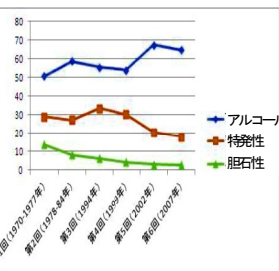


図1慢性膵炎の成因別頻度推移

厚生労働省研究班の全国調査わが国における慢性膵炎(2007年1年間)

推計受療患者数 47,100人

有病患者数 36.9/10万人

新規発症患者数11.9/10万人

検査は、膵酵素アミラーゼ、リパーゼの測定や、腹部超音波検査やCT、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)などがあります。

編集後記

ようやく 雪も融けてきましたね。春の足音は我が家では虫の足音ともいいます。虫たちも苦しい人にはかり見つけてもらって楽しんでるようですが、皆さんの春はどうですか？

